東京保健生活協同組合
大泉生協病院　初期研修

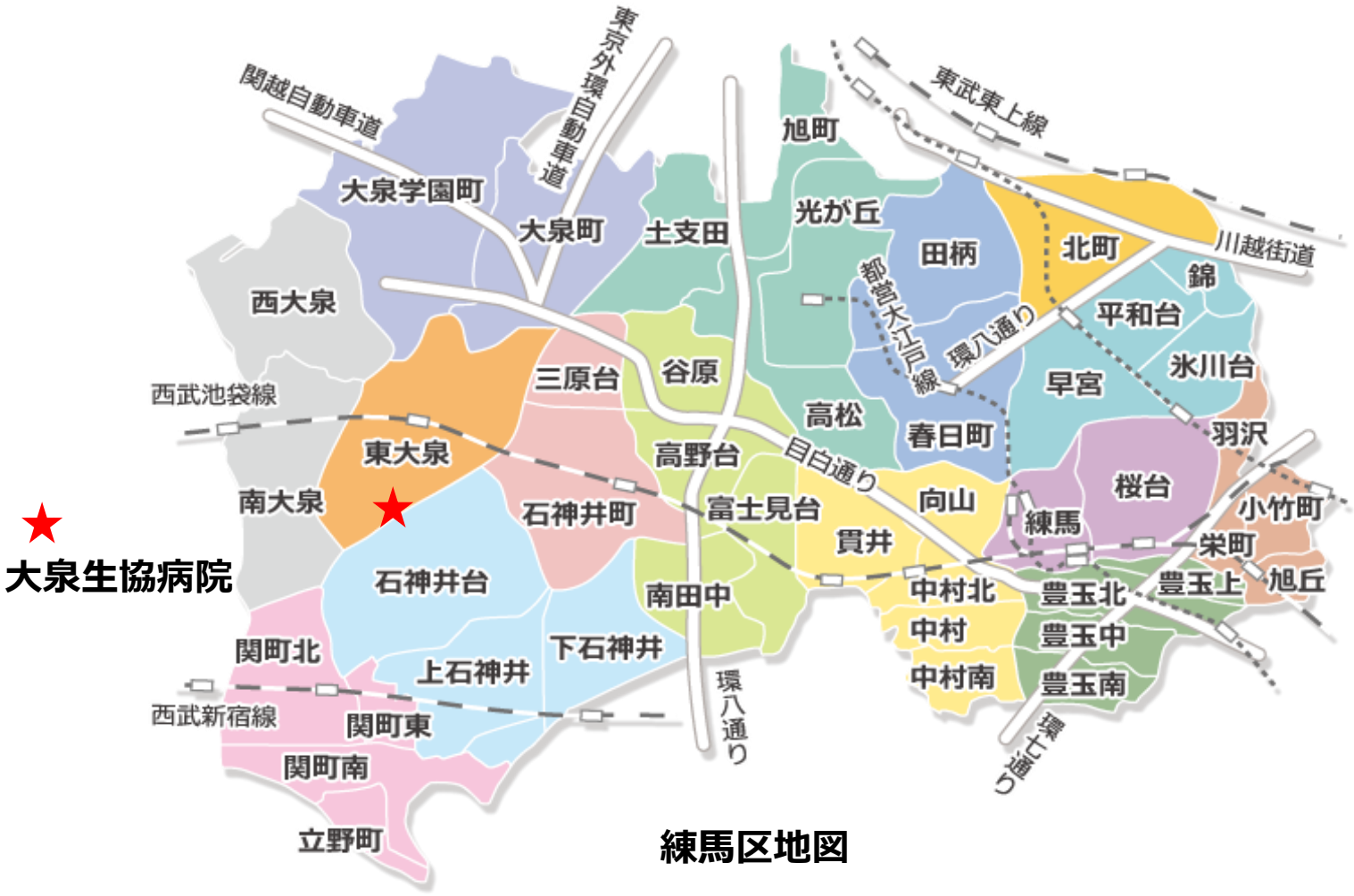
1.練馬区の医療環境

2.病院の概要

3.病棟の特徴

４.研修の特徴

大泉生協病院所在地


関越自動車道
東京外環自動車道
東武東上線
川越街道
大泉学園町
大泉町
土支田
旭町
光が丘
田柄
北町
錦
平和台
西大泉
都営大江戸線
環八通り
早宮
氷川台
西武池袋線
三原台
谷原
高松
春日町
羽沢
東大泉
高野台
目白通り
桜台
南大泉
石神井町
富士見台
向山
練馬
小竹町
貫井
栄町
石神井台
南田中
中村北
豊玉北
豊玉上
旭丘
中村
豊玉中
関町北
下石神井
上石神井
中村南
豊玉南
西武新宿線
環八通り
関町東
環七通り
関町南
立野町
大泉生協病院
練馬区地図

練馬区の医療環境

- 人口：721,330人（2021年5月1日現在）
- 高齢者人口比率（65歳以上）：22.2%（昨年21.7%）
- 区内の病院：16病院

（同一医療圏：板橋区24・北区11・豊島区14）

※救急指定は**6病院＋1有床診療所**

大泉生協病院の概要

大泉生協病院は、

医療福祉生協の病院です。

東京保健生活協同組合が運営し、消費生活協同組合法にもとづき、組合員さんの出資金で事業運営をしています。

医療福祉生協の理念にもとづき、組合員（地域住民）と職員が一緒に「地域まるごと健康づくり※」をすすめています。

※具体的には

1）貧困など社会的な問題に働きかけて、よりよい環境をつくること

2）人生の楽しみを享受して、より豊かな人生をおくること

指定・認定一覧

・WHO-HPH（健康増進活動拠点病院）認定病院

・東京都指定二次救急医療機関

・機能強化型在宅療養支援病院（連携型）

・東京都災害拠点連携病院

・無料低額診療事業所

・協力型臨床研修病院
・東京保健生活協同組合地域密着後期研修プログラム

・ISO9001認定取得

患者実績

◘ 外来

患者数1日平均：160件（2023年度）

救急搬送受け入れ年間件数：506件（2023年度半期）

診療科目：内科、小児科、外科、整形外科、精神科、歯科、
眼科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、
呼吸器内科、循環器内科、神経内科、糖尿病内科、
内分泌内科、発熱外来

特徴的な取り組み：虹の外来

◘ 在宅部

管理人数：188人（2023年10月）

HPH(Health Promoting Hospitals ＆ Health Services)認定病院

- 患者さんだけでなく、職員や地域住民に対しても保健活動を行う
- 三者の健康水準向上をめざし、住民や地域社会・企業・NPO・自治体とともに、健康なまちづくり、幸福・公平・公正な社会の実現に貢献する

地域の方々とHPHの活動に取り組んでいます！

➢ 班会

医療生協の病院である利点を生かし、組合員さんが地域の中で気軽に集まれる「班会」をつくっています。班会では身体機能を維持する体操や趣味の集まりなどが行われ、日々の健康維持に役立っています。

➢ まちかど健康チェック

地域の場所をお借りして、どなたでも参加できる健康チェックを実施しています。

➢ 保健講座

様々な専門職が講師になり、地域の方々向けに健康づくりのための勉強会を開催しています。

そのほかにも様々な取り組みを実施しています！

班会の効果

- 調査時期：2022年9月～12月
- 対象者：高齢組合員338人（平均年齢78.0歳）
- 検査項目：握力、開眼片足立ち、長座体前屈、5回椅子立ち上がり、タイム・アップ & ゴー（移動時のバランス能力を調べる検査）
- 結果：班会回数 23回/月 以上の地区では、統計学的にも有意に体力レベルが良好
- 体力レベルと班会回数の間に軽度から中等度の相関がみられ、班会回数の多いところほど、体力レベルが高い傾向にあった。

引用：小西艶子、寺岡かおり「高齢組合員の体力レベルと班会開催数との関連」

機能強化型在宅療養支援病院（連携型）

- 訪問診療をほぼ毎日実施
- 通院が困難な方、終末期を自宅で過ごしたい方を支援
- 夜間・休日も24時間対応

無料低額診療事業

- 生活困窮者が経済的な理由によって必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料または低額な料金で診療を行う事業。
- 大泉では入院・外来・訪問診療・歯科が対象。
- 医療福祉相談課を設け、専任の医療ソーシャルワーカーが無料で相談に応じる。

法人紹介

「東京保健生活協同組合」

- 病院（2ヶ所）　・東京健生病院（126床）
  ・大泉生協病院　（94床）
- 診療所（10ヶ所）
- 介護老人保健施設（1ヶ所）
- 訪問看護ステーション（7ヶ所）
- 訪問介護ステーション（4ヶ所）
- グループホーム（1ヶ所）
- 居宅介護支援事業所（5ヶ所）
- 看護小規模多機能居宅介護（1ヶ所）

大泉生協病院 病棟の特徴

病棟の特徴

	病棟	役割
2F病棟	地域包括ケア病棟	急性期治療を経過した患者の受け入れ 在宅で療養を行っている患者等の受け入れ 在宅復帰支援
3F病棟	一般急性期病棟	急性増悪の受け入れ

地域包括ケア病棟の受け入れ対象者

患者像：高齢で複数疾患を有し、ADLと栄養状態、認知機能が低下し、ポリファーマシーになりやすい患者

①急性期治療を経過した患者の受け入れ

急性期治療を経過して落ち着いた状態の患者
（繰り返す慢性心不全の急性増悪や脳卒中、誤嚥性肺炎等、がんや大腿骨近位部骨折等の手術等）

コロナ回復患者等を受入れ

廃用症候群・認知症患者の生活復帰

地域包括ケア病棟の受け入れ対象者

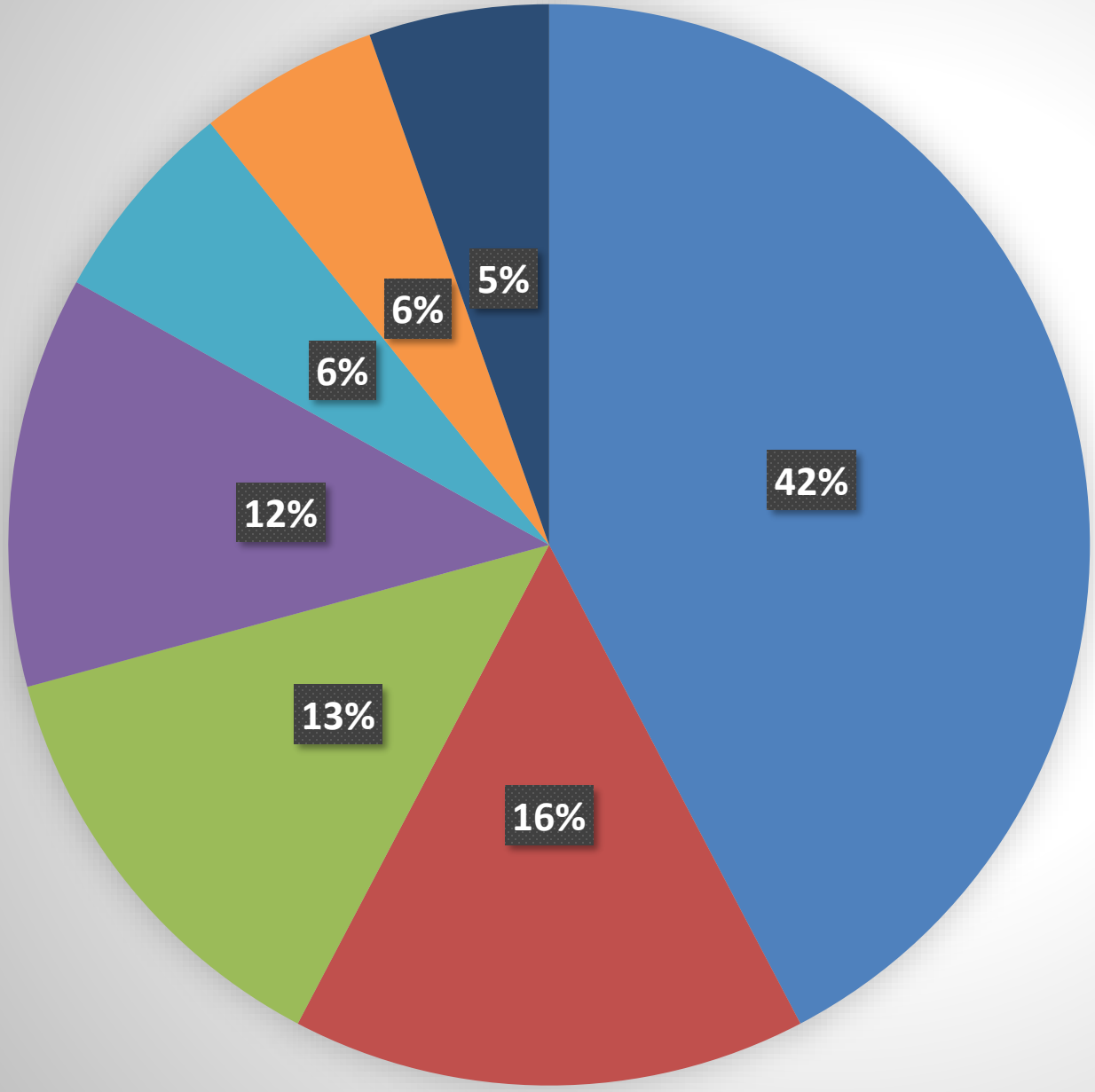
②在宅で療養を行っている患者等の受け入れ

日常生活圏域単位の救急搬送を含む軽・中等症の急性疾患（肺炎･腸炎・尿路感染・脊椎圧迫骨折・脱水等や、緊急手術・麻酔が必要な四肢単純骨折・外傷、高齢虚弱のコロナ患者等）

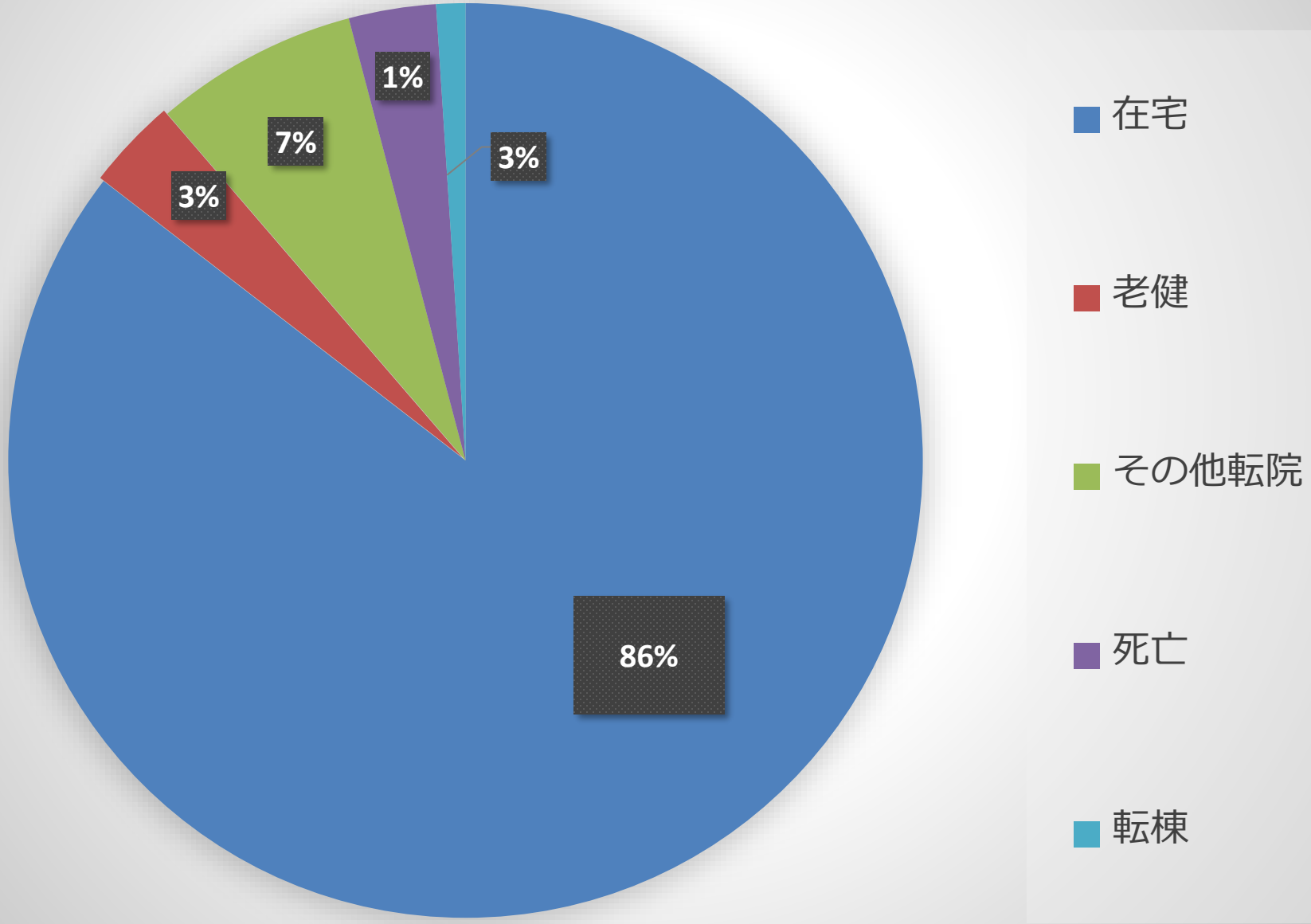
糖尿病教育入院

がん化学療法／緩和ケア

地域包括ケア病棟　疾病分類　2020年度



地域包括ケア病棟からの退院先　2020年度



地域包括ケア病棟の在宅復帰支援

・高い在宅復帰率を維持。カンファレンスや家屋調査などの在宅調整を行い、ケアマネジャーや院内多職種と協同し、積極的に退院支援に取り組んでいるからこそ、実現している。

・リハビリを1日平均2単位以上を実施している。

・介護職員の体制を充実させ生活リハビリに力を入れている。

一般急性期病棟の概要

ロ　内科を中心とした**一般急性期**の病棟。

＜対応疾患＞

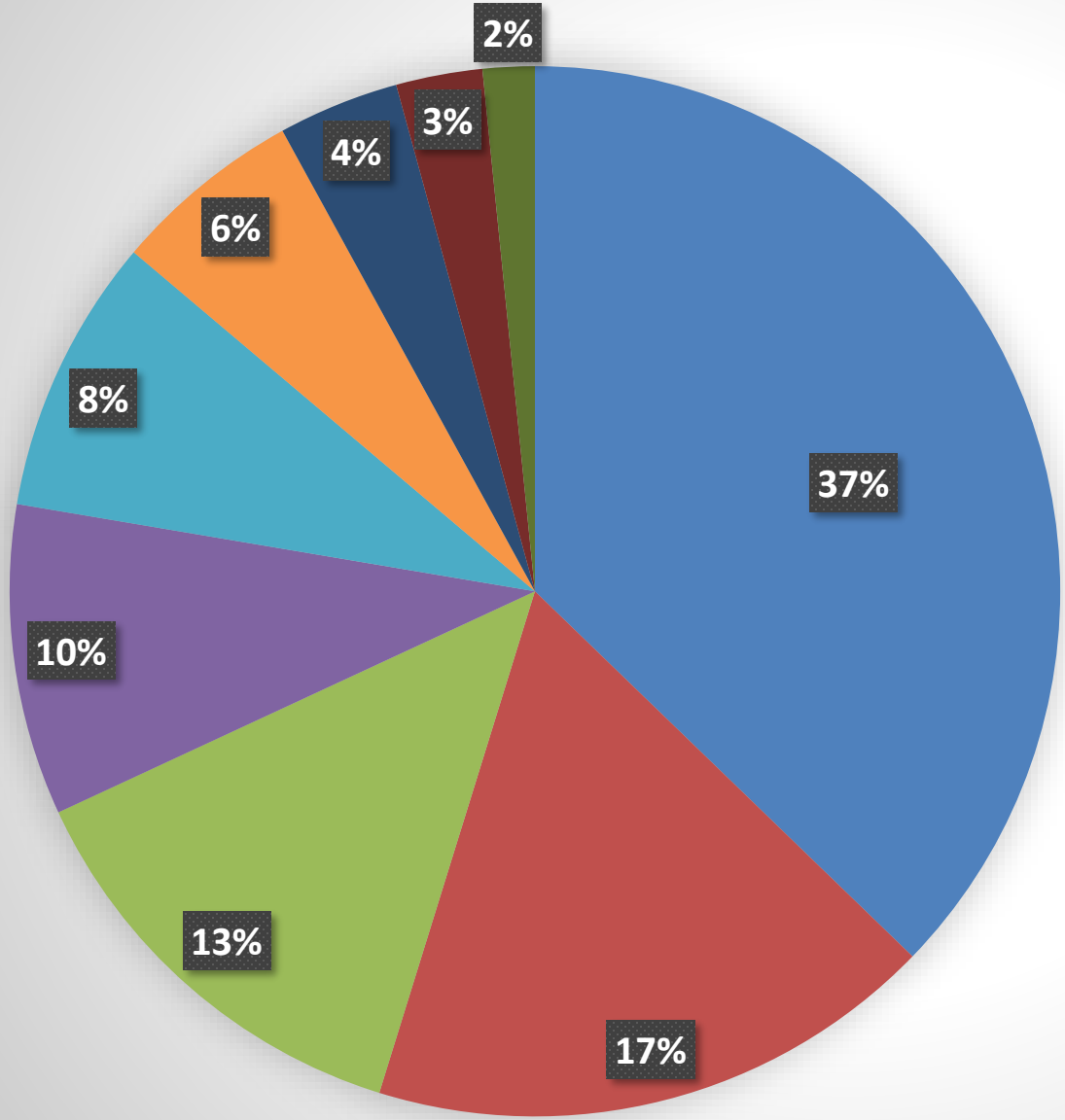
・高齢者救急、一般内科疾患、外科・整形外科疾患

（外科・整形外科は保存的治療で対応できる疾患）

・大腸内視鏡検査、胃瘻交換・胃瘻造設

・睡眠時無呼吸精査等の各種精査

一般急性期病棟　疾病分類



- 急性疾患（発熱・脱水・尿路感染
- 呼吸器疾患
- 整形外科
- 循環器疾患
- 消化器疾患
- 脳血管疾患
- 悪性腫瘍
- 認知症
- 難病

当院入院患者さんの特徴

高齢者が多い

独居や高齢者二人暮らしが多い

認知症が多い

在宅管理の患者さんが多い
・胃瘻・吸引・HOT・ターミナル等
医療依存度が高い

要介護度が高い

入退院を繰り返す方が多い

生活保護受給者や低所得者も多い

※経済的な問題や介護上の問題を抱えている方も多く、MSWの 介入が必須。
地域の開業医、ケアマネジャー、地域包括ケアセンター等との連携も重要。

大泉生協病院 研修の特徴

みさと健和病院地域密着型プログラム
ローテーション例

初期研修は、埼玉のみさと健和病院を中心に、船橋二和病院や東葛病院、みさと協立病院、柳原リハビリテーション病院等と連携して行います。

1年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科（導入期研修）						地域医療		整形		外科	

2年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
救急			小児	産婦	精神	リハ	整形	内分泌		地域	地域医療

青部分・・・大泉生協病院での研修

研修医　週間スケジュール例

	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
午前	病棟	病棟	回診	病棟	病棟
昼			抄読会		
午後	病棟	病棟	病棟	病棟	研修日
夜間		宿直			

※外来研修は9月頃から開始

内科（導入期研修）4～9月

- 内科（導入期研修）は6カ月間、大泉生協病院の急性期病棟でスタートする
- 医師としての基本的な態度、技術、及び主治医機能、コミュニケーション能力や病院内・地域スタッフとの連携などを学ぶ
- 屋根瓦方式による指導体制のもと、内科を中心とした common diseaseを受け持つ
- 医学的診断と治療だけでなく、bio-psycho-socialの教育も重視

地域医療研修　10～11月、2年目3月

- 地域医療を必要とする患者とその家族に対し、包括的に関わり 、全人的に対応できるための教育を行う
- 地域の中で外来診療、在宅医療のあり方、地域の保健福祉機関との連携など幅広く学ぶ
- 外来診療、訪問診療・往診、児童養護施設、障碍者福祉施設、特養ホーム、居宅介護支援事業所等、様々なフィールドで研修を行う

プログラムのオリジナリティ①

- 急性期→慢性期→在宅の流れが理解できる。
- 疾患だけでなく、患者さんの生活背景まで含めた関わり方ができる。
- 鑑別診断能力が磨かれる。
- 主治医機能が身につく。
- Common diseaseを数多く経験できる。
- 基本的な手技を数多く経験できる。

プログラムのオリジナリティ②

- ガイドラインを読み込む時間が確保されている。
- 多職種とのコミュニケーションが磨かれる。
- 研修受け入れは基本1名、多くて2名。症例の取り合いにならない。また、良い症例は積極的に研修医に任される。
- 多職種や組合員さん、病院全体で研修医を育てる。

  ※　多職種からの360度評価など

  ※　クルズス（上級医からマンツーマンでレクチャー）など

指導医一覧

大泉生協病院　常勤

2023年10月現在

院長　齋藤文洋医師

総合診療科・循環器内科・小児科

日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医、臨床研修指導医

副院長　王徳権医師

総合診療科

日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医、臨床研修指導医

3階医長　井上照大医師

総合診療科

臨床研修指導医

2階医長　継松太河医師

総合診療科

臨床研修指導医

指導医一覧

2023年10月現在

大泉生協病院　常勤

家庭医PG専攻医　吉田えり医師

総合診療科・循環器内科

臨床研修指導医

法人内他事業所との掛け持ち

リハビリ科　相原力医師（竜泉協立診療所）

呼吸器内科　加藤冠医師（東京健生病院）

消化器内科　佐藤研路医師（東京健生病院）

その他、非常勤医師多数

※初期研修医　木下時郎医師

初期研修医　飯田航希医師

HP・お問い合わせ先

ホームページ
https://dr.tokyo-health.coop/index.shtml

東京保健生活協同組合　医師部
　大泉生協病院内
　　研修担当
　　TEL：03-5387-3111（代表）
　　医学生室
　　TEL：03-5387-3112（直通）